

# 会 議 録

## ぎふ清流国体恵那市実行委員会 第1回総務・広報・市民運動専門委員会

日 時 平成21年10月19日(月)

開会：午後1時30分

閉会：午後4時00分

場 所 恵那市役所 会議棟 大会議室



出席者 ◎市川 美彦、○山内 克郎、堀井 文博、遠藤 龍美、後藤 満

渡邊 正人、田中 征衛、神尾 寛和、柘植 静一、後藤 俊彦

水野 忠善、小椋 一郎、青山 禮次、丸山 朝夫、堀 歳昭

渡邊 好作、岩島 由和、度会 正彦、太田 明伯、加藤 一郎

荻山 清和、小嶋 初夫

事務局 西部良治(事務局長) 小木曾康弘(事務局次長) 松村和佳(課長補佐)

大島聡(主任)、運営スタッフ 3名(マイク録音 写真 パソコン操作)

## 1. 開会

### ○事務局

お忙しい中お集まりいただき、どうもありがとうございます。

今日は、ぎふ清流国体恵那市実行委員会第1回総務・広報・市民運動専門委員会を開催させていただきたいと思います。

## 2. あいさつ

### ○事務局

開催に先立ちまして、教育委員会次長西部よりごあいさつ申し上げたいと思います。

### ○西部教育次長

どうも皆さんこんにちは。国体の事務局の事務局長を務めております教育次長の西部です。よろしくお願いたします。

本日は、皆さん大変お忙しい中お集まりくださいまして、まことにありがとうございます。国体につきましては、冬季国体があと2年半ほど、それからこの弓道につきましては3年ほどで国体が始まるということになります。そのために、万全の準備をしていきたいと思います。この専門委員会はさらに細かなことを皆さんで決めていただくところがございますので、何分よろしくお願したいと思います。

どうも本日は御苦労さまです。

### ○事務局

続きまして、当専門委員会の委員長をお願いしております地域協議会連絡会座長であらせられます市川様よりごあいさつをいただきたいと思います。

### ○委員長

皆様こんにちは。ただいまご紹介いただきましたが、恵那市13地域の協議会の連絡会の座長ということで、今回の実行委員会に充て職で入らせていただきました。その過程におきまして、総務・広報・市民運動委員会の委員長ということで初めてお目にかかる方もございましょうけれども、言われましたように、2012年には冬季のスケート、そして夏季の弓道というふうに恵那市が担当するということになったわけでありまして。東京オリンピックはやはり世論の盛り上がりがないということが選考の要素としてブラジルのほうにいったわけですが、本国体はもう既に決定をしているということでございますので、当面私どもの委員会が全体の総務のことや、あるいは市民への広報周知、そうしたことが

任務になってこようかと思えます。後ほど事務局からさまざまな課題が提起をされると思えますが、ぜひこの国体が成功するような方向で、それぞれ皆様方の知恵をかしていただきたいと、そういったことを私ども委員長・副委員長が取りまとめさせていただいて進めさせていただきたいと、こんなことを申し上げて、冒頭のあいさつにかえます。

どうも本日は御苦勞さまでした。

○事務局

ありがとうございました。

### 3. 専門委員紹介

○事務局

きょうは最初の委員会でございますので、自己紹介を、委員長から時計回りに順番にお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

○委員長

私は大井町代表でございます。どうぞよろしくお願ひします。市川美彦です。

○副委員長

こんにちは。2番になりますけれども、恵那市の小・中学校の校長会を代表してということでこちらの委員会に入っております、一重丸がついておるといふことは副委員長になっておるようですね。僕は前回の立ち上げの会が一学期の終業式でして総会のほうに参加をしておりませんで申しわけございませんでしたが、ひとつよろしくお願ひいたします。

○委員

名簿ですと21番目でございます恵那商工会議所で専務理事を仰せつかっております青山と申します。よろしくお願ひいたします。

○委員

23番ですが、恵那市恵南商工会の堀と申します。よろしくお願ひします。

○委員

5番でございますが、東野地域協議会長の遠藤です。よろしくお願ひします。

○委員

6番の三郷町地域協議会会長の後藤満でございます。よろしくお願ひいたします。

○委員

7番の武並町地域協議会の会長であります渡辺です。

○委員

こんにちは。8番の笠置町地域協議会の会長の田中です。よろしくお願いします。

○委員

9番の中野方地域協議会の会長の神尾です。自治連のほうも運営しておりますので、よろしくお願いします。

○委員

10番の飯地町の地域協議会の柘植でございます。よろしくお願いします。

○委員

11番の岩村の地域協議会の会長でございます。後藤俊彦と申します。19番の自治連の副会長を兼ねております。両方に名前が書いてあります。よろしくお願いします。

○委員

12番の山岡町地域協議会会長の水野忠善でございます。よろしくお願いいたします。

○委員

こんにちは。16番、恵那市自治連合会長の小椋です。よろしくお願いします。

○委員

名簿の31番、市役所の企画部長の小嶋初夫と申します。よろしくお願いします。

○委員

同じく1つ上の30番、総務部長の荻山です。どうぞよろしくお願いします。

○委員

県恵那事務所振興課の鈴木の代理で参りました加藤と申します。よろしくお願いいたします。

○委員

岐阜県弓道連盟国体実行委員会事務局長をしております太田と申します。

恵那市の方々には弓道の競技会場を受けていただきまして、本当に感謝をしております。競技成功のためにも、ぜひ皆様のお力添え、よろしくお願いいたします。

○委員

こんにちは。岐阜県スケート連盟のスピードスケート部門の仕事しております。県のほうでは理事で恵那市のスケート連盟の理事長をしております度会でございます。今国体におきましては、皆様方のお力をおかりして何とか成功したいと思っておりますので、ひとつよろしくお願いします。

○委員

恵那市ボーイスカウト第1団の岩島と申します。ここにはボーイスカウト連盟と書いてますけれども、恵那市では連盟という言葉は使いませんので、県では岐阜県連盟と書いてますけれども、恵那市のボーイスカウトの場合は第1団ということになります。よろしくお願ひいたします。

○委員

こんにちは。恵那青年会議所の理事長を今年度やっております渡辺耕作と申します。どうかよろしくお願ひいたします。

○委員

名簿の22番、恵那市観光協会の丸山でございます。よろしくお願ひします。

○委員

改めまして、こんにちは。名簿の3番の恵那市の総務文教委員長の堀井でございます。本国体においては、競技とともに、やはり行政としてもおもてなしの心と恵那市を売っていかうと、知っていただきたいということでお力添えを皆さんにいただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

#### 4. 報告事項

報告1 ぎふ清流国体の概要について

報告2 総務・広報・市民運動専門委員会の役割について

報告3 新潟国体の視察報告並びに先催市の取り組みについて

報告4 恵那市の取り組み状況について

○事務局

それでは、次第の4の報告事項のほうに移らせていただきたいと思ひます。

報告1といたしまして、ぎふ清流国体の概要について。これは設立総会の際にご説明した内容でございますが、時を経ておりますので、再度ご確認という意味も兼ねまして、ぎふ清流国体の概要について大島のほうから説明させていただきます。

○事務局

それでは、報告1、ぎふ清流国体の概要について説明させていただきます。お手元の資料の2ページのほうをご覧ください。

まず1、国体の目的と性格。広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、あわせて地方スポーツの振興と地方文化の発展

に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものであります。

国民各層を対象とする体育・スポーツの祭典であります。

2つ目、国体の歴史。国体は昭和21年（1946年）に京都府を中心にした京阪神地区で第1回大会が開催されました。以来、国体は都道府県の持ち回り方式での開催となり、岐阜県は昭和40年（1965年）に第20回大会を開催しています。昭和63年（1988年）には京都府で開催された第43回国民体育大会から2巡目の開催に入りました。

3、ぎふ清流国体が目指すもの。県民協働でスポーツ活動や新しい国体づくりに取り組み、暮らしに調和したスポーツ文化の創造と豊かな岐阜県づくりを目指す。1つ、簡素であっても質の高い国体。2つ、選手と県民の皆さんが主役となる国体。3つ、豊かなまちづくりにつながる国体。

4つ目といたしまして、大会開催概要。開催年は、平成24年（2012年）であります。それまでに開催いたします県につきましては、平成21年、ことしであります。新潟市。平成22年は千葉県匝瑳市、冬季については北海道釧路市。平成23年は山口県山口市、冬季は未定であります。また、大会の会期でありますけど、冬季は平成24年1月から2月、本大会につきましては平成24年9月29日から10月9日までの11日間ということで決定されております。式典会場は、岐阜メモリアルセンター長良川競技場。実施競技は、冬季が正式競技2競技、本大会が正式競技37競技、公開競技2競技、またデモンストレーションとしてのスポーツ行事が22行事となっております。開催は岐阜県内各市町。愛称・スローガンにつきましては「ぎふ清流国体」、スローガンは「輝け はばたけ だれもが主役」。マスコットキャラクターは「ミナモ」というキャラクターであります。主催は、日本体育協会・文部科学省・岐阜県、また各競技会におきましては、会場の市町村及び日本体育協会加盟競技団体となっております。

5番、恵那市の開催競技概要です。冬季大会におきましては、平成24年1月28日から31日が現在の案となっております。競技はスピードスケートとなります。来場者は選手・監督・視察が約400名、競技役員・競技補助員が約150名、一般の観客を延べで4,000人ほど見込んでおります。また、本大会のほうは24年10月6日から9日を予定しております。種目は弓道。来場者は、選手・監督が314名、競技役員139名、補助員87名のほか、一般観客6,650名、これは兵庫県の実績であります。この人数の集客を見込んでおります。

また、続きまして4ページ、5ページのほうには、まきがね公園体育館周辺及び恵那スケート場の現在の国体開催案でありますけど、競技それからテント村等の配置図のほう

を添付させていただきました。ご参考にさせていただけたらと思います。

以上で、報告第1、ぎふ清流国体の概要について説明を終わらせていただきます。

#### ○事務局

はい、ありがとうございました。

申しわけございません。この専門委員会規約におきまして、議事進行は委員長に進めていただくということになってございますが、今、私が報告1まで議事を進めてしまいました。どうかお許してください。それで、報告1の審議事項以降、委員長にお願いしたいと思います。

この専門委員会の状況ですけれども、出席者が21名、代理出席者が1名、そして委任状が2通提出されておまして、24名の出席扱いということで、29名の定数に対しまして半数に達してございますので、専門委員会規定第4条によりこの会議は成立いたしておりますのでご報告申し上げます。大変申しわけございませんでした。

それでは、委員長、よろしく願いいたします。

#### ○委員長

ということで、以降の進行につきましては私のほうでとり行わせていただきます。

ただ今、報告の1としまして、ぎふ清流国体の概要について事務局のほうから報告がございましたが、この内容でご質問等がございましたらお願いしたいと思います。いかがでございましょうか。はい、どうぞ。

#### ○委員

4ページのまきがねの多目的広場の関係ですけれども、これは仮設でやられるということですけど、大体、大まかにどんな感じになるのか教えてください。

#### ○委員長

事務局、お願いします。弓道の関係ですね。

#### ○事務局

それではご説明させていただきます。

恵那市においては国体ができる弓道場がないということで、仮設にて弓道場を設置いたします。まず、体育館のほうですけれども、こちらのアリーナのほうに近的競技会場を仮設で設置いたします。体育館の1番のところになります。続いて、遠的の競技会場については、多目的広場の左から2つ目になりますけれども、32・30というふうな数字が書い

てありますが、こちらが遠的の競技会場となります。その左側の40番というのが遠的のアップ会場ということになります。遠的の競技会場の左側のほうに29番がありますが、こちらのほうが近的のアップ会場になります。その隣の24番、こちらのほうが選手・監督の控え室を予定しております。

競技にかかわるものは以上ですが、あとその上に42番というところがありますけれども、こちらのほうが一般の選手だとか一般観客席、観客などの休憩所ということになっております。休憩所のほうのテントの大きさは、10メートル掛ける10メートルのテントを3つつなげるということになっております。

#### ○委員長

質問者、よろしゅうございますか。いいですか。ほかございませんか。

おいおい、委員会開催の中で知っていただくということでお願いしたいと思いますが、報告1についてのご質問、ございませんか。よろしいですかね。

ないようでございますので、引き続きまして、報告第2、総務・広報・市民運動専門委員会の役割についてを事務局から説明をいただきます。事務局、お願いします。

#### ○事務局

それでは、報告2、総務・広報・市民運動専門委員会の役割について説明させていただきます。お手元の資料の6ページをごらんください。

平成21年7月17日金曜日に開催されましたぎふ清流国体恵那市実行委員会第1回総会におきまして、総務・広報・市民運動専門委員会に次の事項が付託されました。

付託事項1、開催準備計画に関すること。2、実施競技の会場に関すること。3、広報及び啓発の推進に関すること。4、市民運動の推進に関すること。5、ボランティア活動の推進に関すること。6、報道機関との調整に関すること。7、記録映画及び記録写真に関すること。8、他の専門委員会に属さない事項に関すること。

また、7ページのほうに、各専門委員会それから各専門委員会で話し合われる内容についての案ですけど、資料をつけさせていただきましたので、資料をもって紹介とさせていただきます。

以上で説明を終わらせていただきます。

#### ○委員長

報告は終わりましたが、総務・広報・市民運動専門委員会の役割につきましては、この委員会に付託をされておりますのは1から8の内容について、そしてそのスケジュール

等についてはA3の次のページに、ちょっと細かい字でわかりづらい点もございますが、一番上の部分のところが総務・広報・市民運動専門委員会の開催ということを含めながら幾つかにかかわっておりますが、これの説明はないですか。

○事務局

後ほど、各議案とあわせてさせていただきます。

○委員長

では、付託事項の中身につきまして質問なりご意見がございましたら。

では、引き続いて、事務局のほうで説明ください。

○事務局

それでは、報告3、新潟国体の視察報告並びに先催市の取り組みについて報告させていただきます。お手元の資料の8ページをご覧ください。

新潟国体の視察に行つて初めに飛び込んできたものは、たくさんの花でした。これは、新潟県で起こした花いっぱい運動によるもので、花言葉「感謝」のダリアを中心としたものでした。鉢には育てた人の名前とメッセージが添えられ、心温まるものとなっていました。

次に、会場入りして驚かされたのは、ボランティアスタッフの生き生きと活動する姿です。会場を案内する人、花に水を上げる人、ドリンクを配る人、弓道体験コーナーで教えてくれる人など、新潟市では約4,200人ものボランティアが活躍していました。話を聞けば、みずから応募し、国体の歴史やボランティアの心構え、コミュニケーションの基礎を学び、頑張っているとのことでした。なれた対応については、リハーサル大会のときに1度やっているのだからだと言われました。恵那市においても、大切な取り組みであると感じました。

そのほかにも、メインスタジアムではマスコットキャラクターとともに国体ソングを歌い、ダンスを踊って盛り上がり、駅前や競技会場にはメッセージが寄せられたのぼり旗やボード、訪れた方への観光案内、特産品のPRに協賛企業から協賛品の配布などが行われていました。国体の開催会場を回つてスタンプを押して、ポイントに応じて記念品を抽選でもらえる取り組みや、国体とあわせて芸術に触れ、文化を感じる文化プログラム等も用意され、さまざまな面から国体にかかわれるよう工夫がされていました。

恵那市においても、先催市の取り組みを参考に、国体が終わつても恵那市に残る取り組みを行う必要があるのではないかと思います。

以上で、新潟国体の視察報告並びに先催市の取り組みについて報告を終わらせていただきます。

#### ○委員長

9月26、27日でしたかね。今、報告のありましたように、新潟国体の視察について報告がございました。この内容につきまして、さらにお尋ねがされたい点ございましたら、どうぞ。

#### ○事務局

写真の説明が書いてありませんでしたので、申しわけありませんが。

一番上の写真、こちらが花いっぱい運動で飾られておりましたもので、少しわかりにくいのですが、プランターのほうに花を育ててくれた方のお名前が書いてあるのがわかるのではないかと思います。

また、2段目の写真左側はボランティアの方です。それぞれの服で役割分けがされております。ベースがカラーのものは県の関係のボランティア、ベースが白の服、こちらが新潟市の関係のボランティアです。それぞれ色に役割が分けられております。

また、写真右側は弓道を体験するコーナーです。ちょうど弓を引かれているのは堀井委員でございますが、初めて弓道を体験され、とても親切な指導のもと、的に気持ちよく当てられておりました。

また、一番下の写真左ですが、こちらは数々のメッセージが寄せられたボードであります。

また、中央はのぼり旗、各県ごとに市民の皆様の応援メッセージが書かれ、会場内に飾られておりました。

また、その隣、右側の写真ですが、ハート型の切り抜きがまたハート型に飾られておりますが、これ一つ一つにまたメッセージが書いてあります。新潟市への歓迎のコメントであったり、国体開催の応援メッセージなど、さまざまなメッセージが寄せられておりました。

そのほかにもご紹介したい写真はたくさんあったのですが、ここに載せさせていただいた写真は以上となります。

#### ○委員長

補足的な説明もされましたが、報告3につきましての質問ございませんか。

では、なければ次の報告にとりかからせていただきます。報告の第4ですね、恵那市

の取り組み状況についてをお願いいたします。

#### ○事務局

報告4、恵那市の取り組み状況について説明をさせていただきます。お手元の資料の9ページをごらんください。

恵那市におきましては、この専門委員会また実行委員会が設立される前から、国体について取り組みを考えてまいりました。また、できる限りのこととしまして努めてまいりました。

まず1つ目、広報活動といたしまして、平成20年9月26から27日、2008みのじのみ祭り祭で国体のPRを初めて行いました。このときには、東濃振興局それから市の国体準備室と一緒にやって行いました。また、平成20年10月6日には、恵那市キャラバン隊が来ていただくことになりまして、県東濃振興局それから市国体準備室と一緒にやりまして市内を回らせていただきました。続きまして、平成21年5月3日には日本大正村ちよっとおんさいまつりにて、同年6月6日には恵那市健康・福祉祭にて、7月18日には岩村町楽市街道宵まつりにて、8月13日にはザ・縁日（岩村町）にて、8月14日にはやまおかふるさとまつりにて、9月27日には2009みのじのみ祭り祭にて、また10月12日、体育の日にはレクスポえなフェスティバル2009にて国体のPRをさせていただきました。

こちらもちよっと写真の説明がありませんが、左側、これは熱気球のバスケットにぎふ国体のPR幕があるところですが、これは8月13日に行われましたザ・縁日（岩村町）で行われましたPRによるものです。また、写真右側は8月14日やまおかふるさとまつりにての国体PR姿です。マスコットキャラクターのミナモとスタッフによります国体クイズの実施風景であります。

続きまして、作成した広報グッズにつきましてご紹介させていただきます。

まず、市役所の玄関に掲示してありますが、カウントダウン看板。国体の開催まであと何年何カ月というものをカウントダウンしていく看板になります。

また、続きましてゴム印ですが、きょう皆さんのお手元に配布させていただいた封筒のほうにも押させていただいております。さまざまな郵便物を出すときに活用させていただいております。

また、ステッカー。こちらは第1回の総会の際に皆さんに配布させていただきました。公用車にはすべて張らせていただいておりますし、皆さんの車にも張らせていただいているのも見させていただいております。ありがとうございます。

また、ティッシュ。これはさまざまなイベントで配布させていただいております。

また、のぼり旗。きょう市役所に入ってきていただくときに見ていただいた方も多いかと思いますが、黄色ののぼり旗ですね、たくさんつくらせていただきました。

また、ピンバッチ。こちら第1回の総会の際に配布させていただきましたが、弓道・スピードスケートの2種類を皆さんに配布させていただきました。

また、ミナモの看板といたしまして、着ぐるみは、これは現在東濃に1つしかございません。ですので、恵那市でも毎日飾れるように、ちょうどこの写真の上の段の左側、これは岩村振興事務所の玄関で撮ったものとなりますが、この写真のとおり大きなミナモの看板をつくらせていただいております。

また、横看板。これは今スポーツ課に掲示してあります。

それから、懸垂幕。これは現在台風の関係で取り外しをしてしまいましたが、市役所の非常階段に掲示させていただいております。また、今後再掲示させていただこうと思っております。また、駅西駐車場におきましても、掲示できるときに掲示をしていただいております。

また、車用の幕といたしまして、普段はバスに張りつけさせていただいております、マイクロバスすべてではございませんが、一部につけさせていただいております。

また、風船、それからタトゥーシール。これはイベント時に配布をさせていただいております。

また、明知鉄道に看板ということで、写真下の段の一番右、明知鉄道の車両の頭のところに看板のほうをつけさせていただいております。これも明知鉄道の車両があるうちの1台分ということで、必ずしも全部ではありませんが、今は1台につけさせていただいております。

以上で、報告4、恵那市の取り組み状況について説明を終わらせていただきます。

○委員長

御苦労さまでした。

報告第4で、現在までの取り組みの状況について説明がございました。その説明に対してのご質問等はございますか。

ないようでございますので、引き続き進行させていただきます。

## 5. 協議事項

### 協議1 ギフ清流国体恵那市市民運動の方向性について

協議2 んふ清流国体恵那市広報の方向性について

協議3 んふ清流国体恵那市おもてなしの方向性について

○委員長

大きな5の協議事項、協議1のんふ清流国体恵那市市民運動の方向性についてを事務局のほうから説明をしていただきます。よろしくお願ひします。

○事務局

それでは、これより協議事項ということで、まず協議事項について全体的にどのような話をさせていただくのかを説明させていただきます。

協議1は市民運動の方向性、協議2につきましては広報の方向性、それから協議3につきましてはおもてなしの方向性ということで、皆様にも事前にこの案内文書とともにご提案をお願いしたところであります。今回このお願ひをさせていただいたのは、皆さんが考えられている市民運動、広報、それからおもてなしというものに対して、どんなことができるのかというのをこの会議で検討いたしまして、14ページ以降に参考資料がつけてございますが、これは先催市のもとなります。15ページは恵那市のスピードスケート・弓道競技会の開催基本方針でありますが、その基本方針に沿ったそれぞれの市民運動であったり、広報であったり、おもてなしであったり、そういったものの基本計画をつくっていくことになります。また、添付資料の中には、その後企業協賛であったり、ボランティアの要綱であったり、そういったものも一緒にあわせて添付させていただいておりますが、こういった事細かな取り決めを今後していかなければいけないということで、そのベースとなる考え方、それからすぐに取り組めるものについてはすぐに取り組んでいく必要があるということで、その内容づくりのために皆様に大変ご協力いただきました。それについて、協議1、市民運動の方向性から順に皆様に協議をお願いしたいと思ひます。

それでは、協議事項1、んふ清流国体恵那市市民運動の方向性について、まずは説明をさせていただきます。お手元の資料の10ページをごらんください。折り畳んでありますので、伸ばしてごらんください。

ここでは皆様に出していただきました市民運動のご提案について、同じものについてはなるべく同じ区分でまとめさせていただき、提案からできることを事務局のほうで考えさせていただきます。

ここで1つお断りをさせていただくのが、市民運動のところに書いていただいた事項につきまして、広報のほうがちよっと強いのではないかというご意見につきましては、広

報のほうに掲載をさせていただいておりますので、ご了承ください。

それでは、順に説明をさせていただきます。まず、提案内容といたしまして1つ目、「国体を盛り上げるために、市民運動を新たに起こすというような考え方は本末転倒だし、一過性の運動に終わってしまう。それより、現在活動している市民活動団体や地域の団体に協力を求め、各団体のできる範囲で『おもてなし』を中心とした活動をしていけばよいと思います」。このご意見に関しまして、キーワードを2つ事務局では感じました。1つは「おもてなし」、もう一つは「一過性の運動に終わってしまう」ということを一番感じまして、そこでできることといたしまして、まずはおもてなしの心で市民活動を推進しましょうということ。花を飾りきれいな手づくり装飾でおもてなし、ごみのないきれいな恵那市でおもてなしなど、市民が今取り組んでいる活動をさらに盛り上げ、おもてなしの心で元気な恵那市をつくります。これは、協議3におもてなしについてまた話すところがございますので、こちらで深く考えていただけたらと思います。

また、一過性の運動に終わらないということに関しまして、スポーツ課としても、あわせて国体を契機としたスポーツ振興を恵那市に定着することを1つ考えました。もちろん、恵那市で開催される弓道、スピードスケートの競技強化を初めとして、恵那市全体のスポーツ振興について市民皆さんで考える、国体が終わってもスポーツ振興は継続されるような取り組みを行う必要があると考えました。

国体を契機にスポーツを身近に感じ、親しみをもって取り組めるような取り組みとして、恵那市に残るスポーツキャラクターをあわせてつくりたいと思います。これは、ミナモというキャラクターですね。このキャラクターは国体が終わると自然と消えていってしまうような気がします。この後も恵那市に親しめるようなキャラクターが残ったらいいいと思います。

また、幅広い年齢層でいつでも気軽に取り組めるスポーツとして、恵那市オリジナルの曲の体操をつくり、恵那市に残る体操をつくりたいと思います。これは多治見市のうながっぱに負けない取り組みというふうにもとれますし、現在こういう取り組みをされている市民の方もみえます。そういった活動を活発にしながら残るものができたらと思います。

また、スポーツに参加するきっかけづくりとして、スポーツポイントを集める仕組みをつくり、スタンプとカードを作成してみてもどうかと思います。これは、国体の会場を回ったり体験をするとスポーツポイントをもらっていた新潟国体の例にも少し似ておりますけど、もっと幅を広げ、いろいろなところでポイントを集めながらスポーツに親しめる、

そんなものができたらなというふうに思いました。

そんなことを感じて、今年につきましては予算もございませんので、22年度の実施事業としてできたらということで案をつくらさせていただきます。

続きまして2段目になります。「積極的に市民が参加する姿勢とボランティアの公募を早くから取り組み、自然に対応する」というご意見をいただきました。これはボランティア活動の推進ということで、ボランティアは中学生ボランティアであったり、高校生ボランティア、一般ボランティア、幅広い層から募り、新潟市の例などをとりますと、ボランティアの種類としても、広報ボランティア、運営ボランティア、装飾ボランティア、応援ボランティアなど、それぞれが意欲的に取り組める分野でそれぞれのボランティア活動をしていただけたらというふうに思います。そして今年度はそのボランティアの募集要綱を作成して、来年度は募集して、業務説明や研修等ができればと案をつくらさせていただきます。

また、続きまして3段目でございますが、ご意見といたしまして「町民一体となり、自分たちのまちは自分たちでやるという連帯感を持ち行動を起こす」、「地域での話し合い」、「区長を中心として、組織を生かして盛り上げを図る」、「恵那市で開催される競技を啓蒙するために市民参加で大会を行う」、「個々の特性が多様化し、市民運動の活性化は相当難しい課題となっています。近年実施する県・市のイベントも、参加者は減少傾向となっています。1、子供の参加が期待できること（親の参加）2、多様性に対応していること（スポーツ、憩い、環境、ボランティアの参加、老若男女）3、弓道、スケート競技者の拡大」。こちらの意見につきましては、1つの意見として、ばらばらにしにくかったので、ここに位置づけさせていただきます。また、「各地域自治区から出られる選手を盛り上げる」と、こういった意見をいただきまして、この意見をとりまとめ、地域での市民運動の取り組みと題し、各地域でみんなで国体を盛り上げるように話し合い、地域でできることに取り組むということを案としてつくらせていただいています。

例といたしましては、何々町何々区であります。歓迎応援旗、のぼり旗を地区で作成していただきます。また、フラワーロード強化地区指定と花の設置、郷土芸能による歓待事業、競技場内での観光物産コーナーの設置、地域をきれいにする活動を行う、スポーツを通じて健康づくり、これはあくまで例ではありますが、こういったことで地域での盛り上がりをお願いします。また、あわせまして企業参加の呼びかけといたしまして、大会を支えていただく企業の方にも呼びかけをし、協賛の取扱要項を今年度作成し、来年から協

賛をお願いできたらというふうに思っております。

また、ご意見の中には「市民運動をどのような姿で描いておられるのかよく判らない」という意見をいただきましたけど、いろいろな、こういった皆さんで出していただきました市民運動のご意見をもとに事務局としての案をつくらさせていただきました。この市民運動の方向性について、また皆様からたくさんのご意見、ご提案等をいただけたらと思います。

以上で説明を終わらせていただきます。お願いします。

○委員長

協議1につきましては、既にきょうの委員会案内の中でアンケート的なものが同封されていて、それぞれご意見が出されたなどの内容を含められていると思いますが、さらに皆様方のほうから、今報告のあったほかの問題として、あるいは今報告のあった事柄について、ご意見あるいは質問を出していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○事務局

どんな小さなことでも結構ですので、ご意見いただければと思います。

○委員長

先ほど事務局から、ミナモのキャラクターは大会が終われば終わると。残るものとして、開催市の恵那市として何か考えていきたいというのですが、例えばの話でもいいし、具体的などいうか腹案的なものがある、その例を出されることによって委員の皆さん方のほうから、むしろこういうものがないかというような意見も出ようかと思えますので、もしも恵那市独自のキャラクターを考えてみえれば、具体例としてどんなものを考えておられるのか。もしも腹案があったら、そういうのを説明いただけますか。

○事務局

キャラクターにつきましては、現在案のほうはございません。ただ、この国体を契機に、こういったものを一緒にPRするということですね。単体でそういう取り組みをしても、なかなか市民の中には溶け込んでいきません。ミナモと一緒に時々あられる何かがついてきた。それは一体何なんだというところから一緒に入って、市民の中に溶け込ませていく。また、恵那市のスポーツ振興の中心となって活躍していただいております恵那市体育連盟のほうでも、そういった要望が出ております。あくまでキャラクターは皆さんのご意見をお伺いして、市民みんなで作って上げていくキャラクターを考えております。

○委員長

例えば、瀬戸の万博の場合はモリゾーとキッコロですか、タイアップしたキャラクターが対応しておったわけですが、今のもそのように岐阜県全体のキャラクターとしてはミナモであり、恵那市の開催としては恵那市にふさわしいキャラクターを考えながら、同時にいろいろな催し会場だとかそういったところに印象づけていくと、こういう考え方だろうと思いますが。皆様方のほうで、ミナモは長良川の清らかな清流を思い描きながら、このミナモという格好になったと思いますが、当恵那市におきましても、いろいろと観光資源が豊富なところですので、そういったようなことのキャラクターを考えていただければいいと。事務局としては今のところまだ具体的な考え方はないということなんですけれども、おいおいとそんなようなことも含めながら考えていただきたいと思います。

では、後からまた全体的にかかわる質疑、1項も附帯しますので、協議2項、協議の2ですね。広報の方向性について説明してください。

#### ○事務局

それでは、続きまして協議事項2ということで、お手元のページ、資料の11ページをごらんください。

今回、皆様からいただいた意見、大変この広報のことについて多いと感じました。多いということは、まだ皆さん、足りないぞという意見を私は大変受けとめまして、ここについてもなかなか区分分けがしにくい部分でありましたので線は引いてございませませんが、おおよその内容を皆様の意見の隣に書けるよう資料をつくらさせていただきました。順に説明をさせていただこうと思います。

まず、「恵那市民の各分野の各層（小中高校児童生徒等）にぎふ清流国体の開催内容の周知をあらゆる機会を通じて行う」、「各種団体に趣旨、内容の徹底を図る」、「まず、体育協会に参加している市民が理解することが第一」、「恵那市で開催される種目等の内容を詳しく伝える」、このような意見をいただきまして、まずは各種団体にまだ説明が不足しているなということを思いました。ということで、まずは体育連盟、体育協会、自治連合会等、説明できる主要団体には説明をさせていただこうと思います。ですので、きょうご参加されている皆様には、ぜひそういった機会をつくっていただければと思います。

また続きまして、「競技団体を中心として該当競技のイベントを開催・運営を通じて参加者を拡大し、加えて運営面の知恵を募集し、参加意欲をそそっていく」、「弓道、スケート競技の面白さを市民に周知する。例えば、スケートにおいては、園児・小学生など初心者身近な存在として捉えてもらうため、スケートの面白さ、楽しさを体験させるな

ど・・・」、あと「県内の先陣を切る『スケート』をまず重点的にPRする。（我々がトップバッターだという意識作り）」が大切だという、このような意見をいただきまして、恵那市開催種目を前面に出したPRをしたらどうかということをも案とさせていただきます。内容といたしましては、弓道教室・スケート教室。それから、さまざまなイベントに体験コーナーを設置する。これは、わざわざ教室ということでそこに行かなくても、行ったら体験できた、これを大切にしたいと思います。

また、文化イベントで弓道のデモンストレーション、そういったものを行ったり、恵那スケート場で行われるイベントやスケート教室のチラシに、そういったものに参加賞がついたりしますが、そういったものにスピードスケートが国体の始まりであるというキャッチフレーズを入れて配布してみてもと思います。

また、今皆様もつけていただいておりますが、ピンバッチ等国体のグッズをたくさん作成させていただきます、全部配ってしまつては実行委員会のほうの予算もすぐなくなつてしまいますので、販売も視野に入れたグッズの作成をさせていただこうと思います。

今年度につきましては、もう冬季となつてしまいますので、スケート教室であったり、それからスケートがトップであるというキャッチフレーズのチラシ、国体グッズの作成というところから始めまして、22年度実施ということになっておりますが、これは22年度以降の実施の案でございます。また、弓道教室・スケート教室、イベントの体験コーナー、文化イベント、それからスピードスケートがトップで始まるというキャッチフレーズを入れたチラシ、国体グッズの作成・販売、こういったものをさせていただけたらというふうに思います。

また、続きまして皆様方のご意見であります、「各分野の情報誌に、冬季・夏季の国体開催趣旨の伝達、又当市の広報等を活用し広く知らせる」、「『広報えな』に国体のコーナーを設ける」、「広報えなで告知する」、「ぎふ清流国体の趣旨をわかりやすく知らせる」、「弓道・スケート競技の面白さを前面に押し出してPRする」、「『弓道とは、こういう競技なんだ』ということを紹介する」、「過去の国体で岐阜県がどのように活躍したのか、恵那市の活躍をまず市民に知ってもらうこと」、「期待できる種目・選手があればその種目選手の意気込みなどを載せる」、「先ず、2012年に『ぎふ清流国体』が開催されることを市民の皆さんに知ってもらわなくてはならないと思います」、このようなご意見から、まずは紙面を活用したPRを考えました。まずは、皆様いつも読んでいただいております「広報えな」での特集記事、これを掲載したいと思います。

また、「広報えな」は紙面の都合等もありましてなかなかたくさんの方の情報を載せられない状況もありますので、国体便りの発行、「広報えな」とあわせて配布させていただくことにより、皆様に多くの情報を伝達したいと考えております。あくまで案としましてですが、四半期発行、または会期が近づいたときには増発ということで、皆様に国体の情報を頻繁に提供していきたいと考えております。

また、各団体が発行する広報誌にも情報掲載を依頼したいと思っております。こちらにつきましては、平成22年度以降に実施できたらというふうに考えております。

続きまして、12ページをごらんください。皆さんからいただいたご意見の中には、「広報については、多くの媒体を利用することが出来れば（広報等はあまり見ない傾向）  
1. 広報、市・県ホームページ、新聞広告、テレビ広告、2. 恵那・武並駅のプラットホームから見える広告看板、駅舎にパンフ、3. 中央道から見える看板、サービスエリアにパンフ」、「市役所やスケート場等に『ミナモ』の入った横断幕などをあげる」、ここから、まず看板に看板によるPRについてまとめさせていただいております。

ご意見の中から、恵那・武並駅のプラットホームから見える広告看板、中央道から見える看板、競技会場にモニュメント看板、主要道路境に看板、恵那インターに歓迎看板、それから坂の上の交差点に歓迎看板、この歓迎看板というものは国体の開催付近になったら掲げるものであります。それから、恵那市民会館に横断幕を設置、こういったものを案として考えさせていただきました。平成21年度には、予算が許す限りとなりますが、駅のプラットホーム看板、それから市民会館の横断幕ぐらいをなるべく早く設置し、早くから市民の皆様の目に触れ、国体がPRできたらと考えております。

続いて、ホームページを活用したPRといたしまして、恵那市としての国体のホームページを作成したいと思っております。これは今年度中に一応案的なものをまずは作成いたしまして、来年度以降充実させていけたらというふうに考えております。また、ご意見の中でテレビでの広告ということもありまして、せっかく恵那市にありますケーブルテレビをフルに活用し、ケーブルテレビへ取材を依頼、PR番組等の作成も行っていきたいと考えております。

続きまして、皆さんのご意見といたしまして「ミナモをアイキャッチとして多用する」、これは誌面であったり看板であったりということです。それから「広報無線の活用」、さまざまなものを活用したPRをご意見としていただきまして、このほかにも考えられるものとしていただきまして、新聞等への情報提供。駅舎・サービスエリア等にパンフレッ

トを置く。電光掲示板、これは選挙のときに使われました、その電光掲示板を活用したPR。それから、車両車体を利用した広報の実施。現在、明知鉄道にはヘッドのところ看板をつけさせていただいておりますけど、そういったものですか、先催市でいいますと車全体に国体の装飾をしたものも走っております。そういったものの装飾を行い、動く看板といたしまして皆様にPRができたと思います。また、告知放送によるイベント等の紹介。また、市民のアイデアを生かした手づくりPRグッズの提案もお願いできたらというふうにも考えております。

ということで、これも今年度予算が許す限りとなりますが、車両車体を利用した広告を早目に実施し、まず皆様の目に触れていただくということを大事にし、それ以外のものは来年度以降努力したいというふうに考えております。

また、続きまして皆様方の意見として「小さなイベントを重ねる」、「事あるごとにPRする」、「全区へ頻りにPRに行く」というお言葉をいただきました。ということで、イベントを活用したPRということで恵那市全体のイベント、昨日行われましたみのじのみ祭り祭等がそれに該当いたしますけど、そういった市を上げて行うようなイベントでは必ずPRを行う。また、今年度行いました岩村のザ・縁日、山岡のふるさとまつり等、地域で行う行事につきましては、もちろん地域の要望も聞きながら、13地区に1回はPRにお邪魔するというような計画を立てたいと思います。今年度は残すところ、大正村クロスカントリー、恵那峡ハーフマラソン、これは年度持ち越しとなりますので4月となりますけど、こういった全体的なイベント。また、恵那スケート場で行われるイベントには、先ほど出ましたスピードスケートが一番最初に開催されるのだということとあわせて、こういったPRをしていきたいというふうに考えております。

また、続きまして皆様のご意見といたしまして「事業所等公共の施設において清流国体のCDを流す」、先ほど会議が始まる前までそちらのほうで曲をかけさせていただいておりました。あの曲がぎふ清流国体の演奏・音楽であります。また、ご意見といたしまして「子供たちをうまく使う（使うという言葉は駄目かも）（自然と親も関心を持つと思われる）」、こういったことから、やはり国体ソング、それから体操、ダンスを活用したPRを行っていく必要があると思います。

メモリアルで行われた岐阜県の総決起大会に参加していただいた方には、体操をしていただきダンスも披露していただいておりますので、見たことがある方もお見えかとは思いますが、ぎふ国体のソング、まずこれを一番私たちが動きやすい市役所の昼休みの時

間帯ぐらいに流して、まずは皆さんの耳に触れる機会をつくりたいと思います。

それから、恵那高校の音楽部、南高校のブラスバンド部等に呼びかけイベント時に合唱演奏してもらい、そして皆様の耳に届けたいと。

それから、国体ソング、ダンス、体操の普及及び交流。今から弓道競技が開催されるまでには3年間の期間があります。スケートはもう少し早くなりますが、この3年間で市内全小学校の運動会に出向き、また事前にPRもしながら、ダンス、体操、ソングのPRをしていきたいと思います。また、既に幼稚園・保育園には県のほうからCD、DVD等が送られておりまして、既に二葉幼稚園におきましてはこの運動会でダンスをやられました。そういうところにはキャラバン隊として出向き、園児たちの盛り上げ役となり、一緒にPRができたと思います。また、えなっコチャンネルを使いましてテレビ放映。せっかくやっていただいたダンス、体操等を放送できたと思います。

また、国体ソングの合唱、職場単位での体操、ダンスコンテストなどのイベントを実施し、そのイベント実施にはアミックスコムさんと呼びテレビ撮影行い、皆さんのやる気を発揮させ、PRとしていきたいと思います。

今年度につきましては、まず市役所の昼休みにソングを流す、それから高校等への呼びかけをしていき、そのほかにつきましては来年度以降努力していきたいということで案を作成させていただきました。

長くなってしまいましたが、皆さんからたくさん広報のほうは意見をいただきました。事務局案の作成とご紹介をさせていただきました。ご協議のほど、よろしく願いいたします。

#### ○委員長

広報の方向性についてを、皆様方のご意見等含めて出された内容について、事務局としてはこのようなことを進めていきたいというようなことで、今年度あるいは来年度の考え方について今説明されました。一応協議事項につきましては、運動の方向性と広報の方向性等々について今出ましたので、総体的に皆様方のほうから、皆様方から寄せられた意見等もあわせて、さらに、こういうことを言っているのだけれども、もう少しこういうこともつけ加えてほしいというようなことがございましたら、出していただければと思います。全体的に協議1、2、3に含めて皆様方のご意見やら補足意見をいただきたいと思いますが、いかがでございませうか。

#### ○事務局

3まで先に説明させていただきませんか。

○委員長

はい。どうぞ、事務局。

○事務局

協議がまだ2までの説明となっておりますので、あわせて協議をしていただけるといことでしたので、先に協議3、ぎふ清流国体恵那市おもてなしの方向性について、お手元の資料13ページを説明させていただきます。

こちらにつきましては、まず皆様のご意見といたしまして「名所・名物の案内」、「明知鉄道の無料パス提供」、「郷土料理」、「郷土芸能」、「1. 観光、岩村の町並み案内等（シャトルバス運行）、2. 伝統芸能の紹介（山岡白山比咩神社、獅子芝居、中山太鼓、大井文楽等）、3. 偉人紹介、佐藤一斎、山本芳翠、下田歌子、三好学などの紹介パンフ、4. 特産品（栗きんとん、細寒天、五平餅、へぼ料理、菊ごぼう等）」、「観光（恵那市の特産物）をわかり易く解説する文書、競技会場への案内では略図ではなく、実際の地図で詳しく説明する案内図を作る」、「他県からの人は、この町はどんな町かが一番知りたいことだと思いますので、一目でわかるパンフレットを作る（あれもこれも見ないと分からないようでは、わずらわしいから）」、「恵那市の食べ物や特産品を中心とした物販活動」、「市内の観光案内スケジュール相談窓口設置」、「恵那市の特産品（農・商工）をそろえてお土産にする」、「他地域との交流会」というようなご意見のもと、事務局案といたしまして、観光でおもてなし。これは観光案内所（係）を設置、観光パンフレットの作成、明知鉄道とのタイアップ事業というものを上げました。

また、郷土芸能でおもてなしということで、行われます競技会の中での監督会議と審判会議の間ですとか、開会式・閉会式等に郷土芸能を披露するようなチャンスをいただき、皆さんに見ていただける機会をつくりたいと思います。

また、特産品でのおもてなしということで、恵那市のお土産が競技会場で買え、配送できるような計画。それから、皆様方で、ちょうどみのりのみのり祭のときには13地区で味フェスタというものをやっただいております。そんなような地元の心温まるような出店をしていただけたらということをおもいます。また、恵那市に泊まれる方は、恵那市のことをなかなか知らない方も多いです。ちょうど新潟国体のときには新潟のうまいものの紹介があったりとか、さまざまな観光パンフレットが用意されておりました。ですので、例えばですが、恵那市のうまいものの紹介のようなパンフレットをつくり、皆様をこうい

ったものでおもてなしできるような計画を立てれたらと思います。

とりあえずですが、今年度におきましては、皆様に売店を出店していただくに当たります。ふさわしくないお店の出店を防ぐこともあわせてですが、売店等の設置要項の作成をし、来年度以降、市商工観光課、観光協会さん等に呼びかけをし、つくっていくと。また、文化振興会さん、まちづくり組織さんのほうにもあわせて呼びかけをして、おもてなしでできることを考えていきたいと思います。

また、続きましてご意見として「来場者は競技を見物に来るのだから、会場内を整然と見物し易いように整理する」、「会場への誘導看板等わかり易く配置する」、このご意見から、親切な案内と心でおもてなしといたしまして、駅に案内所を設置、場内誘導看板の設置及び案内係の配置、案内マップの作成等を行えたらということでも考えました。

また、あわせまして過ごしやすい居場所づくりでおもてなしというのを1つ出させていただきまして、どちらの会場も言えることですが、雨天時に雨をしのげる居場所というのが現在ではありません。全くないわけではありませんが、非常に少ない状況です。そういったものの居場所を確保してあげること。また、冬季におかれましては寒さをしのげる居場所づくり、先に開催されましたインターハイのときにも非常に問題になったこと。そういったもので、皆さんをおもてなしできるような計画を立てれたらというふうに思います。

また、続きまして「市内の関係する街道を花で飾る」、「花いっぱい運動で飾る」というご意見をいただきまして、これはもうたくさんのおもてなし。花いっぱい運動を競技会場、恵那市の主要街道、駅・インター等の恵那市の玄関口に歓迎花プランターなどを作成して、おもてなしができたらというふうにも思います。

また、ご意見といたしまして「選手のホームステイはどうか（希望者のみ1日～2日）」、あと「家庭料理のおもてなし」というようなご意見をいただきましたが、ホームステイ、民泊かというようなこともちょっと思いまして、現在民泊をするというのは非常に大変なことで、想定にはなかったわけですが、せっかくご意見をいただきましたので、皆さんの要望があればということもちょっと思っております。

それから、ご意見といたしまして「相手の立場に立って心温まる対応をするのが『おもてなしの心』ですから対応する人が笑顔で楽しく行動する」。これは、市民みんなが元気なあいさつで来ていただいた方をおもてなしする、あいさつ運動・声かけ運動。それから、文字のメッセージでおもてなしということで、応援旗、寄せ書きなどを作成したいと思

ます。

また、ご意見として「全国のお客様に綺麗な街に来てもらえるように、まちの清掃活動を行う」というご意見をいただきましたので、きれいに掃除をしておもてなしと題しまして、地域での清掃活動を盛り上げていけたらというふうにも思います。

以上で、皆様のご意見をもとにおもてなしの方向性について事務局案を説明させていただきました。協議1から3、あわせてご意見等をお願いしたいと思います。

○委員長

はい、御苦労さまでした。

各位のご意見とそれに対する事務局の考え方、今年度もしくは来年度にそれを行うというような考え方が示されましたが、先ほど申し上げましたように、さらに補足的にどうか、あるいはまた具体的にどうか、その辺でご意見がございましたら出していただきたいと思います。いかがでしょうか。はい、どうぞ。

○委員

選手のホームステイというのがあると思うが、それをやめたらいいのではないかとこの話ですかいかがお考えでしょうか。

○事務局

県のほうから説明会がありましたので私が行ってきました。民泊をやられると、本当に地域の方と選手が非常に親密な交流ができるということなのですけれども。ただ、食事が統一された食事で、国体メニューだとかというのもありまして、選手からは非常に不評な部分もあったり。それから民泊を行いますと、効果もあるのですけれども、労力が非常に地域の負担があると。でも、やると非常に心に残ったものがあるというような説明をお聞きしました。

○委員

僕は選手はどうかなと・・・。

○事務局

選手も、やはり競技記録を真剣にねらう選手ですと、ちょっとやはり個室で静かに心と体を休めたいというような意向もあるみたいです。

○委員

選手のほうは、かつては40年の国体が恵那市でありましたけれども、その当時から少しの間ぐらいは民泊でもいいかなというのはちょっとあったのですが、最近の社会性とい

うか人間性といいますか、ちょっと変化がありまして、やはり民泊の中で団体で泊まるというよりも、どちらかというと個々で個室といいますか、あるいは2人といいますか、そういう少人数で、例えばビジネスホテルなんかに泊まったりというような傾向にあります。

#### ○事務局

それで、恵那市としましては、恵那峡それから市内のホテルで選手団それから監督の宿泊予定は十分満たすことができますので、今のところ民泊というのは事務局としては考えておりませんが、やはり民泊というものがあって交流を深めたいというご意向がございましたら、どこまでかあれですけれども、対応してまいりたいというふうに思っておりますけれども。

#### ○委員長

このおもてなしの中の出ている意見に対しての考え方が出ておりますが、当市は恵那峡を中心とした市内の宿泊施設で冬季も夏季も十分対応でき得るということだけは確認されておりますので、むしろ選手にしてみれば、大会まで来て気を使うということよりも、大会で自分のコンディションをきちっとするということに専念されると思いますので、むしろその辺については余り考えなくてもいいのではないかなということだと思いますので。例えばどのようなケースがこの民泊に該当する人かなと思いますけれども、一応いざにいたしましても、関係者は市内の宿泊施設で十分宿泊可能という準備が考えられておりますので、このことについてはそこまで考えなくてもいいのではないかなというように思います。

そのほかございませんか。はい、どうぞ。

#### ○委員

ちょっと事務局さんに伺いたいのですが、ちょうど今、来年度の予算をどうするかという時期になるのですが、ここで実施案として上げられたキャラクターの作成や曲や体操の作成、あるいは看板の設置などは、予算のほうはもう既に確保されているのか、これから検討されるのか、いかがでしょうか。

#### ○委員長

事務局、どうぞ。

#### ○事務局

これから当初予算期に入りますので、積算をしまして、そして要望をし、議決をいた

だきたいというふうを考えております。

○委員

結構、曲とかキャラクターとかをつくるものと、あと看板も含めてなのですけれども、すぐに100万単位のお金が必要になると思いますし、結構事務局さんの負担も大きくなるようなことも思いますので、そこら辺も踏まえてご検討いただければと思っております。

○委員長

質問につきまして、事務局いかがでしょうか。

○事務局

今、承ったことを一度検討しまして、また予算的にも検討していきたいと思えます。募集はできれば公募でお願いしたい。曲とか、体操なんかもまちづくり活動の中で体操の振りつけなんかもやっておられる方もいますので、そのような方にもお願いして、できるだけ経費を削減して実現していきたいと思っております。

○委員長

最低限でも、今各委員から出された意見に対して、事務局としてはこのように進めていきたいということなのですが、平成21年度は立ち上げの年ということで、予算といえる予算が張りつけられておるわけではありません。来年度は今質問がありましたように、この中身の内容とか規模だとかそういうことに伴って具体的な数値がはじき出されてくると思えますので。例えばそういうもとになる上におきましても、今3つの方向性の課題が出てきましたが、むしろ具体的な皆さん方の提起に基づいて、それがいいのか、悪いのか、その方向で行こうではないかということであれば、それが予算づけの1つの考え方になるかというふうに思えますので。そういった意味からも、この内容についてのご意見をいただければと思えます。思ってはいたが事務局としては私の思ってるほどの予算をつけないのではないかということではいけませんので、こういうことについてはこういうことを考えて提案したのだと、こういったことはやっぱりどの程度の予算措置が必要なのかというようなことを出していただくことによって、事務局側も皆様方の考え方と一致した予算の措置ができて、今後の広報運動というのができていくのではないかと思います。そんな点でご意見ををお願いします。

○委員

ボランティアが新潟では4,200人となっていて、全体で4,200人なのか、例えば弓道・スケートはそういう意味で規模が違うと思うのだけれども。それと、人数がどれくらいか

ということと、やっぱりボランティアの対応というのが非常に選手、応援者、監督らに与える影響というのは大きいので、かなりボランティアというのはきちっとというか、ある程度のことはマナー的なことはきちっととってもらって対応するというものでないといけないと思うのだけれども。大体スケート場でどれぐらいとか、スケート競技でどれぐらい、弓道でどれぐらい見込んでみえるのか。新潟ベースでいいのだけど。

○委員長

はい、事務局。

○事務局

新潟市の4,200人というのは、新潟市で行われましたたくさんの競技、新潟県では一番の中心の都市でありますので複数の種目が行われておりますが、それをトータルしての数字であります。ですので、単独の種目としてはもっと少なくなります、その数字につきましては現時点でちょっと調べておりませんので、申しわけありません。

○委員長

4,200人は、県都であるということのでかなりの種目がそこに集中した上でのボランティアということで、弓道あるいはスケートについては、まだどの程度であったのか。また後ほど、もしも把握されておりましたら、そういった数を提起されることによって、例えばそういうボランティアの募集、冬季大会はどのぐらい必要性があるのか、夏季大会においてはどの程度の必要性があるのか、こういうことを一つの考え方としてゆきたい。もしも新潟大会の種目別に、スケートは別といたしまして、弓道については行かれたと思いますので、その辺どうですか。

○事務局

確定した数字ではないのですが、一応ボランティアの方は1日200人ずつぐらい出ておられます。それから、市の職員の方は大体四一、二名でしたかね、毎日。ですから、トータル、これらの正規期間は4日間ですけれども、実際にはその4日より前、2日、3日ぐらい前から公式の練習が始まっていますので、1週間以上になります。この間ずっと、市内にはそういう掃除隊といいますか、大体6、7人がグループになって、ゴミ袋を持って、スタッフジャンパーなんかを着て市内をぐるぐる回ったり、駐車場の案内とかしておりました。いろんなことを考えますと、さっき言った200人ですね、1日200人地域ボランティアの数は必要であると考えます。

○委員長

そうしますと、前段、開会前あるいは開会後も若干含めて、想定すれば約1,800名ぐらいの人が必要だということになると思いますが。それは先ほど申されましたように、行政職員を含めての動員ということですので、一般動員としては大体1,400人ぐらいということになのかね、1週間ぐらいと考えれば。

#### ○委員

いいですか。ボランティアについても、それから予算についても、市民が見て、今回の国体は非常に活発にやっているなど、恵那市の弓道、それからスケートはすごいなど、そういう市民の受けとめ方が認知されれば、それはそれなりの評価、予算がついても私は何も言わないだろうと思うのですが、何にもそれが無いのに予算ばかり先行されると、なんだということになりはしないかなと。この広報も、それからおもてなしの市民運動も、どれ一つもかけがえのない大事な項目なのですね。

それで、最も大事なものは市民運動の問題ですが、例えば野球だとかサッカーだとかを恵那市でやるぞというたら、それは底辺の広がり、違いますから、大変弓道関係者には失礼ですけれども、それはスポーツの開催地によって随分違うわけです。だから、今回の弓道、スケートの場合は専門の競技場がありますから、だんだん上昇的にスケートの底辺は広がっておりますけれども、こと弓道、私は高校時分に少しなぶったぐらいですから余りわからないのですが、まず恵那市で行われる弓道あるいはスケートをいかに市民に知っていただくか。先ほどからありましたように、弓道のおもしろさ、弓道とは何かというようなことを定期的に市民にやっぴりまずPRすることが私は先決だと。その後に、ボランティアはこういうものがありますよと、こういうのに市民の皆さんは参加してください、このためにはこういう予算が絶対大事ですよと、その後に来るべきものであって。私は、まず弓道そのものが一体どんなスポーツなのかと、それからスケートについてはいい上昇期に乗ってますが、この際もっと底辺を拡大するためにも、そういう2つの競技を徹底して私らも市民に訴えていく、当面は私はそこに尽きるのではないかなと……。それが、市民の皆さんがなるほどなと思えば、ボランティアの数もふえてくるだろうし、それからおもてなしの内容もまた変わってくるだろうと、そんなふうに思います。だから、まだ3年も先でありますから、ここ1年は、あるいは1年半ぐらいは徹底的に弓道を。昔の人たちは結構弓道をやってましたし、弓道の道場がありますように、もう一回弓道をする人口をこの際ふやしていく、そしてリードしてもらい、そこからが一番スタートの大事なところではないかなと私は思います。

## ○事務局

大変貴重な意見、ありがとうございます。ちなみに、実は昨年までですが、春の健康・福祉祭、秋のスポレク祭のほうにありました。これはずっと合併前から多分恵那市のほうでやられていたと思うのですけれども。私の地元は明智なのですけれども、恵南町はもともと弓道の盛んなところでした。先ほど申されたように、恵那市ももともとは盛んでやられたころには、たしか盛んにやられたと記憶にあります。それから恵那郡の総合体育大会でも、第1回の弓道大会も恵那高の弓道場を使ってやられていたというような記録が残っておりますので、もともとはそういう土壌はあったと思うんですね。ただ、今いろんな新しい競技種目ができまして、若い人も、皆さんそちらのほうに魅力を感じていくというのは記憶にあります。

ただ、日本全体で考えますと、今は和の心といいますか、非常に日本の文化を大事にしようという気持ちが今は高まってきておりますので、全国的に見ますと、非常に、むしろ若い人とか女性の方がふえておる傾向なんですね。先ほど言いました健康・福祉祭、スポレク祭でやりました。昨年までは参加者が非常に少なかった記憶があります。ことし、実はちょっと趣向を考えまして、体験コーナー的に両方やりました。春のほうの健康・福祉祭につきましては、150人を超えるというようなたくさんの方の人数、まだそれでもやりたいというような参加者がありました。秋のほうのスポレク祭なんですけど、これもいつもですと数人ぐらい、というのは場所の関係もあると思うのですが、御存じのように弓道場が体育館から非常に離れておりますので、あそこまでわざわざ寄られる方は少なかったんですが、ことしは本当に3時間、4時間でしたけれども30名ぐらいの方が見えて。ある程度、皆さんが少しずつ国体を恵那市でやるというような意識を持ってこられているのではないかというような感じを受けました。

ということで、今問題になって、ここに提案されております周知活動がこれから非常に大事になるかなど。まず、それにこたえるべく、私たち競技団体がそういった体験コーナーとかあるいはデモンストレーションをやるとか、あるいは教室あるいは青少年を含めた底辺の拡大を行っていくということが非常に大事かなというふうに、私は感想としてそう思っています。以上です。

## ○委員長

ありがとうございました。今のご意見がありますように、ちょっと私のほうも余り詳しくありませんが、弓道のほうは衣装がありますよね。例えば一般的に親しむには、スポ

ーツウェアぐらいでも対応できるものなのかどうなのか。逆に、今ちょっと委員のほうから話がありましたように、弓道を心得た人の大会もあれば、スケートでも弓道でも初心者の大会みたいなもの、こういうものをやっぱり1つは下手でも何でも大会という名のところに出て競技をして、そこからやっぱりそれぞれの分野の競技人口をふやしていくような、そういったことを、例えば弓道の連盟もしくはスケート連盟のほうで今後取り組みとして考えていかれるかどうかということ、その辺はどうでしょうね。

#### ○委員

岐阜県のほうとしましては、会場が1カ所しかないということで土曜日、日曜日というのはほとんど埋まってしまっているような状況で、競技大会そのものがもう詰まっているということで、やるとすれば恵那市で無料とかそういったイベントなんかをやりますけれども、そういったときに小学生や初心者の方に例えば100メートルの記録会をやるとか、そういったもので興味を持っていただく、そういった方向を打ち出して行って底辺を拡大していく、そういった方向があるのではないかなと。現在のところ、中学校の大会はやっています。それから、スポーツ少年団の関係の教室も実際行っております。幼稚園なんかですと、クリスマスのときにイベントがあるわけですがけれども、そのときにクリスマスのトナカイさんをスケート連盟の人間がそりをひっぱってやるわけですがけれども、非常に人気がありまして、連盟の選手のほうにばててしまうぐらいの人気があるわけです。そういったことで今は、一時はスケート場がないということだったのですが、できましてもう5年になりますけれども、だんだんとそういった底辺の拡充もできてきておると思います。選手そのものも、一時は本当に小学生・中学生あわせても20人いるかないかだったわけなんですけど、今は全体で100名を超すような状況になってきておりますので、非常にそういった面では年々ふえてきている、そういった状況です。

まだまだ、やはりリンクそのものの営業時間もそれらもきちっと決まっていますものから、そういったことで大会をやるにしても、昼間は、それから日曜日・土曜日は詰まってしまっていると。平日はできないと。夜やろうと思っても、なかなか営業時間というものも8時半で終わってしまうということで、子供たちが学校を終わって帰ってきて、それから親に送ってもらって会場へ行って競技会をやろうとすれば、多分7時過ぎることになると思うんですね。そうすると、1時間で競技をやるというのは、これは到底無理なことですので。そこに時間の延長がある程度できたりすれば、そういったいろんな競技会、子供たちができるような競技会を考えることは十分可能だと思いますけれども。

## ○委員長

ありがとうございました。

特にスケートについては営業時間との兼ね合いで、なかなかそういった初心者の大会運営が難しい状況であるということですから、これも先ほどの話ではありませんが、その人口をふやしていくためには、そこに合わせた進め方を含めて、やっぱり市民と子供たちが、当地でスケートを開会するに当たってもやっぱり深い理解がいただけると思いますし。スケートについては、そういったことで貸し靴等は借りられると思うのですが。

弓道は例えばそういうような普及をした場合に、あれは個々の道具でしょう。一般的に。

## ○委員

そうです。日本の武道というのは、御存じのように非常に単純なものが多いですね。空手なんかは何も持たないし。弓道も全く、手袋というか「かけ」といいますが、はめるものと、弓をただ引くだけと。ところが、やってみると非常に難しいんです。視察にいかれた方がやってみえてやったのですけれども、あれは近い距離で、たまたまああいう形でできたのですけれども、実際それをまた競技でやろうと思うと、初心者ではちょっと無理かなと。

今、恵那市の現状を見ますと、例えば学校単位で今やっているのは、上矢作中学校が選択科目で週に1時間。それから山岡の小中学校でたしか、これも学習の中でやっていると思います。明智は、小学校クラブのほうで少年の弓道クラブがあります。毎年、県の大会には参加しています。ほかの地区においては何もありませんけれども。これは例えば中津川市なんかには比べますと、中津川市はスポーツ少年団が全地域にありまして、加子母なんかでいいますと、例えば4年生からおりますけれど、少年弓道クラブだけで40人ぐらいなのです。これは付知、福岡、坂下、川上、全部ありますね。一般のほうも旧の中津川市においては非常に盛んであります。もともとは昭和40年後半までは恵那市のほうが盛んでして、こちらからあちらへ教えに行った記憶があります。それぐらい盛んでしたけれども、昨今の高齢化というので、非常に若年層の人口が減っております。

ですが、私としては何とか、どうせやるのだったら。今度は参加枠としては、地元開催ですので、少年の男女、それから一般の男女、4チーム出れるんです。これは無条件です。ですから、その中の1人でもこの恵那地域で出てくれれば非常に大会は盛り上がるんじゃないかなと考えておりますので、今から中学校の2年生ぐらいになりますか、この辺から育成していくと、ちょうど少年の部に間に合いますので、この辺のあたりを何とか恵那市

の中の、学校というよりも恵那市の中でそういう交流の大会から教室を始めていければというふうには。

あわせて、平成24年からですが、文部科学省の方針では既に決定されてはおると思うんですが、武道を中学校で授業に取り入れると、正科にするということにもう決まっております。予算は平成22年度から執行されるようになっていますが、できたら、せっかくここで開催する競技ですので、例えば恵那西でも結構です。どうか1校、2校は開催地である弓道を残してほしいとか、残したいというのが私たちの願望ですので。今から年数はありますが、何とか地域ごとに広めて、何とかそれで後に残るようにやっていきたいなと。

○委員長

ありがとうございました。

合併した恵那市の中でも、今人口の問題からいけば、恵南地域のほうには弓道の指導者もしくはそういったその関係者もお見えになるんですが、旧のほうの中にはその辺が少ないわけですので、たまたま体育館の横に弓道場、あれは遠的なのか、近的なのか、どちらですかね。

○委員

両方です。国体は両方ですが、一般には近的が主です。

○委員長

ああ、そうですか。いずれにしても弓道場があるということが一つにはあるわけですからね。これは教育の分野として、やはり東西中学校あるいは小・中学校を含めて、最も生徒数の多い地域ですので、そこのところあたり、もうちょっとある程度それが波及していくような、先ほどのお話にもありましたように指導者がお見えになるのですから、もう少し層の広げ方をひとつ教育サイドで考えていただくようなことも、一つは事業と予算を含めて考えていただきたいなと思います。

今、おっしゃる点はやっぱり部分的に集約されてしまっていると。もっとすそ野を広げるということになると、もっと生徒数の多いところもそういうところにかかわってもらわないと、しかも会場が体育館でやるということですから、西中学校も近いし東中学校も近いというようなことですので、そこの選手の発掘を含めた対策の一つは課題として考えていけたらということをお願いしたいと思いますね。はい、どうぞ。

○委員

恵那市内に高校が今、3つぐらいあるんですかね。

○委員

3つですね。

○委員

弓道部を持っているところはありますか。

○委員

はい。農業高校、恵那高校、恵那南高校です。

ただ、ことしは実は恵那高校が入部数がすごくふえてしまって、弓道場が狭い割に、たしか40何人いたと思いますが、対応できなくて先生も非常に困っているようなのですが。年々、やはり学生さんというのは毎年入ってくる入部数が違ってくるのですね。恵那高校はもちろん進学校ですから、ある程度部活の活動時間の制限があります。実際、盛んにやっているのは恵那南高校がやってますし、現実ことしインターハイで県のほうで入賞しまして、全国大会まで行きました。東海4県のインターハイでは個人で優勝することもできました。大体、毎年優秀な選手がずっと出ております。ということで、活動としては、現在は恵那南高校が一番やっているという状況ですね。

ちょっと余談になりますけれども、実はこの国体競技に関しましては、高校生の補助員というのが毎日87人ぐらいですか、毎日要ります。ですから、現在私らで考えておるのは、恵那市内の3校だけではちょっと足りないのかなという感じで、中津川地区の高校さんにもお願いして、ローテーションを組んでやっていきたいと考えております。ただし、やはり地元で何とかしたいなというような希望は、願望として持っていますので。

○委員長

少しずつ話が具体的になってきましたので、そういうことを前提として。はい、エンドウさん、どうぞ。

○委員

今の弓道の話、スケートは国体ということでわかるような気がしますが、弓道はやっぱ一般市民というのは、何で恵那に弓道が来たのだと、そんなに恵那は弓道が盛んなのかなと、そういう話をよく聞くわけですが、私も、何で弓道？と思います。盛んにするために、そういう考えなのか。恵那に持ってくるものが弓道しかなかったという話なのか、その辺はどんなものでしょうか。今ごろ申しわけないけれども。

○委員

それは私が答える立場ではないのですが。ただ、全体の状況から見ますと、東濃地区、多治見まで入れた5市ですか、これは岐阜県の半分以上はこの5市にある、弓道人口がですね。恵那市さんが受けられた経過というのは私からはちょっと。

○委員

何かそういう話を言われて、ぜひ弓道を成功させないといけないけれども。これだけの人数が……、見るところ、観覧席もつukらないといけないのですね。つくっただけ、ちゃんと来てくれるか……。

○委員

実際にこの費用はもったいないことになる、後々使えるような構造にしておくとか何かしないと。ただし、これは広場ですから撤去しなければならないでしょう。

○委員

ちなみに、前年度に、この大会のリハーサルとして全国の勤労者選手権大会というのを平成23年に行うのです、前年度に。だから、全国大会を2年度続けてやるわけですね。ですから、仮設でつukる部分も、1回つぶしてまたつukり直すというような形になるのです。言われたように、非常にもったいない話です。

○委員長

事務局、今度の清流国体というのはお金をかけない国体であるというのが基本的な考え方ということで、若干そうは言いつつも、そのようにつくっては壊しつukるといふものがあるよと、そういったことがあります、その辺について、まず一つは、やっぱり市民にどう理解をさせるのかという運営が必要だろうと思いますし。壊したといつても、組み立て方式にしておけば、1回つくって1回それを捨てるのではなくて、翌大会にはまたそれを組み立てて使うというような、いろんな創意工夫もあろうかと思つukるので、そこのところあたり一つ考えていただくということと、委員のお話がありましたように、そういうことをこの委員会を含めて周知を図っていくという重要な委員会ですので、その辺ひとつよろしくお願ひしたいと思つukます。

ほかにご意見ありませんか。はい、どうぞ。

○委員

済みません。よろしくお願ひします。

1つ確認をさせていただきたいのですが、会議スケジュールというのは、それは基本的なことで申しわけないです。この広報委員会は今年度はこれで終了ということですね。

次年度に2回行くと。最終までで6回で終わりということによろしいでしょうか。

○事務局

はい。これはあくまでも想定でございまして、今年はまず一番最初の年でございまして、この計画をしっかりと審議いただいてということで2回想定しております。また、それぞれの年度におきましては、まず国体のリハーサル大会が、勤労者のリハーサル大会でございまして、これが平成23年6月に弓道のリハーサル大会がございまして、その前にやはりボランティアだとか、それからいろいろ盛り上げるための再確認をその年度の当初にさせていただくようなことで1回。

それから、今度は冬季大会が、これは国体ですけれども、始まります。それが平成24年1月なんですけれども、その前にもう一回スケートの冬季大会を開催するに当たって、また市民活動それから広報とかというのを開催から半年ぐらい前に一度それぞれ確認していきたいということ。それで、最後に本国体の弓道がございまして、それぞれの大会の前に一度ずつ組んでございましてけれども、それで審議が進めばよろしいですが、いろいろまたご協議いただかなくてはいけないことがふえてまいりますと、もう少し回数がふえてくるような形でちょっと考えておりますが、まだ進捗状況等もございまして、とりあえずここに記載させていただいているのは、あくまでも素案ということでご了承いただきたいというふうに思います。

○委員長

はい、どうぞ。

○委員

これはわかれば結構なのですが、この冬季大会本大会の一般観客の延べ人数ですね、こちらの、わからないと思うのですが、例えばこれは予想されている人数だということなんです、市内・市外・県外の割合比率というか、そういうものがもしわかると、例えば広報の方向性みたいなものが出てくると思いますので。わからないですよね。

○事務局

ちょっと比率まではわからないのですが、やはり国体となりますと、少年の選手には親御さんなりが応援に来たりとかも見えますので、そういった方とか。あとは視察団ですね、後催市などの視察の方も多くは見えます。あとは、新潟市に視察に行ったときに、1日だけだったのですが、小学校のクラス、1クラスぐらいだと思うのですが、招待というか、そういった形で見に来ているというところもありました。

## ○委員

何が言いたかったかといいますと、どなたかが言われてた思うのですが、一番最初にやっぱり広報していくべきところというのは、県外ではなくやっぱり恵那市内だと思しますので、まず恵那市内にどういう形で2012年に国体が行われるということをPRして広報していくかというところがもとにあって、そこから県内そして県外へというような形になっていくのかなと思いますので。まず、こちらにいらっしゃる皆様もそうですし、私もそうなんですが、各種団体からの出向者も出ておられますので、そういう各種団体を大いに、言葉は悪いですけども利用していただくということと。もう一つは、市民みんな参加型、全参加型という国体になってくると思いますので、その市民がどういうふうに参加をしていいのかということが非常にわかりにくいと思うんですよ。ボランティアに出たいけどどうしたらいいのかとか、例えば企業協賛をしたいのだけどどういう形で協賛したらいいのかとか、ということを整理をしていただきたいなということを思います。

それで、例えば一つだけ最後に済みません、提案なんですけど、例えば商工会議所の専務様もいらっしゃってますので、恵那市の商工会議所だけでも、たしか登録されている団体・個人が1,400ぐらいはあったと思います。恵南商工会も同じく1,000近い団体企業さんがあったと思いますので、例えばこのゴム印を押されているように、例えば各企業の営業が配る、社長様がお配りなる名刺等もございますので、そういうものに、これはなかなか難しいですが、国体のPRの印がもしつけることができれば、何十万枚という枚数が1年間で県内・市内に配られていきますので、そういうグッズができれば、それを無料配布もしくは協賛のグッズとしてつけてもらうというような形でやっていくと、広がる可能性もあるかなというふうに思いました。

以上です。

## ○委員長

ありがとうございました。貴重な意見をいただきました。

そのことに基づいて、考え方として、具体的ではないのですが、今の委員の質問に対して、考え方がもしあれば出していただけますか。

## ○事務局

貴重な意見、どうもありがとうございました。どのような形で市民の方々が参加できるのか、また企業の方々に参加していただくのかというのは、次回やはりこちらのほうで先催市ですね、先に開催している市・県の状況を調べまして、また事務局のほうで考えま

して、素案を出させていただきたいと思います。どうもありがとうございます。

それと、名刺のアイデアをいただきまして。それは名刺をこちらでひな型みたいなものをお刷りしましてお渡しすると、これはかなりの金額になると思いますので、一度この国体のキャラクターのミナモとかロゴですね、その著作権の関係を県のほうが扱っておりますので、ちょっとご相談して、そういったふうにご利用させていただけないだろうかという中で、各自企業さんのほうで、もしよろしければ、そういったものが無償で使えるということであれば、名刺の中に刷り込んでいただくようなご理解を得られればなというふうに、今ちょっと個人的にですけれども回答をさせていただきたいと思います。

#### ○委員

ただ1つ、踏まえておかないかんというのは、さっき委員も言ってみえたけれども、隣の中津川市はレスリングをやるのですね。ああいうものは結構みんな見とるんだけど、弓道というのは割かしみんなの認識度が低いわけやね。だから、市民を上げてというふうにしても非常に難しいということ。僕、新潟へ行ってみえたときにいけば、どういふふうな具体的なのというか、そういうこともよく研究されて取り組まんと、あっちやこっちやでいろんなことをやっても、弓道ということ自体、競技自体が余り市民の間に浸透していないわけやね。僕も言われてみれば、どうやって勝負というか、的へ当てれば……ということになると思うのだけれども、そういう点を頭に置いてやっぱりやらなければいけないということを強く言いたい。サッカーとか野球とか、そういうものはみんなほとんど知っているもので。

#### ○事務局

新潟のほうでちょっと勉強してまいりましたけれども、やはり身近ではない部分もございまして、観戦の要領だとか、まず予選はどういうふうに行いますよと、そして決勝戦はどういうふうだという、そしてそのルールを簡単に解説したもの、それから弓道の起源を、最初に歴史みたいなものを少し書いたものを、弓道観戦マニュアルみたいなものを当日会場でもつくって配っておりますし。事前に市民の方々の理解を深めるために、そういったもの、観戦マニュアルの前に、弓道とはどんなものかというの、パンフレットないし広報や国体通信ですか、そういったもので取り上げてPRしていきたいと考えております。

#### ○委員

あれは、観戦するためには入場料は無料なのか、どうなのか。

○事務局

無料です。

○委員

無料。そうすると、やっぱり観客の動員やけれども、前回世界スピードスケートかな、もう準備だけしておったけれども、まるっきり子供がいなかったと。何で恵那の子供が来ないのだということ、かなり波紋があったようですから、今回はそういうことのないようにしてもらいたいけれども。弓道にしても、恵那のほうは小・中、せめて高校生まで全部来てもらわないと…、そのぐらいの動員のつもりで来てもらわないと。

○委員

平日ですので、学校の授業とぶつかるのですね。多くの国体会場なんかだと、その県によってですけども、子供たちが応援してくれる県もあれば全然ない県もあるという。

○委員

ないということは、指導が足らん。

○委員

そうではありませんけれども、県によっては温度差があるのですね。だから、恵那がどういう方向を打ち出すかでまた変わると思いますけれども。

僕が一番感動したのは、今まで国体に行った中では、子供たちが書いてきた手紙を持ってきてくれて、選手控え室のところへ持ってくるのですね。そうすると今度は、その手紙を受け取ると同時に、今度は選手が子供たちにサインをしてあげる。そういうやりとりなんかをした覚えがありますけれども。そうすると、選手と子供たちとの接点がすごく近くなるというような、そういうようなのがありましたけれども。

○委員

ちょっと細かいことを言いますが、先ほどの質問のミナモのあれですね。こいつを名刺なんかには刷ってPR用に活用したらいいのではないかと、こういう話がありましたね。それは一度聞くということでしたが、この封筒にはそのものずばりが押してありますわね、印鑑やらで、ぼんと。そうではなくして、これをミナモを恵那市用にアレンジしてね。ここにかいてありますね、こんなふうに弓矢を引いたり、滑ったり。こんなようなことができるのか、できないのか、一回これも聞いてください。普通の我々のような者が団体がPR用にそれを使っていいのか、悪いのか。そうすれば、先ほどの商工会議所のほうでも使われるかもしれませんし、それから我々のほうも話をして、ではこれを使って大いに恵那

市の国体を宣伝しようではないかと、そういうことになるかもしれませんので。ちょっと聞いていただければ。

○事務局

今、ちょっと県のほうから委員が見えてますが、わかりますか。

○委員

私の知る範囲で申し上げたいのですが、このキャラクター、それから国体のソングとかは皆さん自由に使っていただきたいということで、こちらからぜひお願いしたいぐらいに考えております。

それから、名刺のほうなのですけれども、実は私の名刺にももう刷り込んでありまして、電子データでご自分で刷られる方はそれをインターネットから利用して、あるいは印刷の会社のほうにそのデータをお渡しして刷り込んでいただくということは、まず間違いなく可能だと考えております。

○委員

なるほど、なるほど。これはいいのではないですか。

○委員

県の推進局のほうでは、開催市実行委員会、それと国体で開催する公認の競技団体につきましては無償で使うということが決まっております。ただし、後から報告を出すということになっていきます。それから、民間企業が使う場合は届け出制になっております。申請用紙を出して、こういうふうに使いますよという許可がもらえれば使えるということになっております。例えばお菓子の表装といいますか、包み紙に恵那市のグッズを載せるという場合には、これは民間の立場になりますので、申請をして許可をもらうということになります。許可は、多分恐らく無償で出ると思います。それについてのお金は多分かかりませんと思います。

○委員長

ありがとうございました。話にありましたように、一番最初に個人個人、団体、その他いろいろの方々が宣伝活動に即使えるという、こういうことですので、この辺はひとつ事務局も早く具体的にしながら、きょうお見えになる委員も含めまして、早急な取り組みを、できることから早くやっていくということにしたいと思っておりますので、一回その辺はよろしくをお願いします。

名刺やとか、あるいは先ほどちょっとお話がありましたように各お店屋さんとか、

包装用紙の中の模様を使うとか、いろんなことがどうも対応でき得るそうですので、さまざまな活用の仕方について、まず皆様方の中で、もしも普及・宣伝ができましたら、そんな格好で取りまとめていただいて、事務局もその時間帯にそういうことについては早目に取り組めるように、ひとつ具体的に問い合わせがありましたら、お答えいただくようにご準備をいただきたいというように思います。

いいですかね。はい、どうぞ。

○委員

先ほどから、マイナーなスポーツというようなことで弓道を普及するのに大変だなというお話が出てます。事実そういう部分もありますが、まず、こういう文書をもってこの会議も必要ですけど、皆さんにまず現場で見ていただく。弓道ってどんなものというのが、いろんな方を大会のあるごとにお呼びしていただいて、ぜひ見ていただくというのがまず第1原点だと思うの。この文章ではわかりにくい。例えば、3人で4つの矢を射て何本当たったか、近的だ云々よりも、まず見ていただく。これから出発していくということが大切かなと。その総括で、やっぱりこれからこれを進めていかなきゃいけないけど、ぜひ大会があつたり小さな大会でもよろしいですから、僕は呼んでいただければぜひ現場へ出て見てみたいと思うのです。だから、多くの人に大会をまず見ていただくことを。

僕が感激したのは、やっぱり矢渡しとかの儀式の中での能に近い動き、静と動という。恵那市の岩村町で能をやっておみえになるけれども、非常に難しいのです。またこれも難しいけれども、やっぱりそういう儀式の中での動き。ただ、矢を当てるだけでないものも。僕は、まともに1回しか行ったことがないです。それを感じれたということは、きっとここにお見えになる人も行けば何らかの形で感じるもの得るもの、そういうものが発信の一番になっていくのかなと、そんなふうに僕は思いますので、ぜひそういう現場に呼んでいただけたらありがたいなと、暇がある限り行きたいなと思います。

以上です。

○委員

だから、全員行って、そこでやって会議したらいいんだ。

○委員

それを是非。

○委員

1ついいですか。やっぱり、さっきの意見の中で私も本当に思ったのですが、何でこ

それが恵那市で開催されるかということをやっぱり思うということは、市民の大半の人はそうやって思っていると思います。だから、こういった専門委員会の中で、まず弓道それからスケートを恵那市で開催するという方向をちゃんと示して、こういう格好で国体を恵那市でやるのだということをやっぱり皆で統一して、そして発信していかないと。自分でも、何でこんなところで恵那市でやるのだらうということのを思いながらやっただけ、これは皆さん多分説得できないと思うし、多分地域でこれから、こういうのがあるよという説明をするときに、何で恵那市やと言われたときに、それは知らんというのではいけないと思うので。やっぱりそういうところがさっき言ったように出発ですので、そこらを統一して、これなら恵那市で開催しようというような方向づけを示したほうがいいかなと私は思います。

#### ○委員長

おっしゃる意味は、もともとこの弓道というのが先ほど委員のほうからお話がありましたように、東濃5市が岐阜県下においても競技人口が多いと。とりわけ恵那・中津川がその東濃5市の中でも比較的多いということとあわせて、幾つかの弓道場もこれありというようなことで、一つは岐阜県の場合、弓道という種目が恵那市に割り振られたというような、若干のそこに到達するまでの根拠的なもの、こういったことも一つ事務局のほうで取りまとめていただきたい。そして、その弓道の競技そのものについて、今委員もおっしゃっているように、その状況がなかなか見られなかったわけですので、委員のほうにもお願いをしたいのは、例えば近々のうちにそういう競技会とか、もしくは模範的なそういう、弓道はこういうことなんですというようなことで、もしもご演技いただければ、この委員会そろって、まず人に物を言うには弓道の「きゅ」の字も知らんようでは宣伝も何もできませんので、まず1つはその辺のところから取りかかるようにしたい。委員のひとつご配慮で近々のうちに何かそんなことが、恵那市の弓道場でもいいわけですので、考えていただいて、ご参加いただけて、まずまず弓道とはこういうものだということをやっぱり自分たちも飲み込みながらやっぱり人に説明していかないといけないわけですので。そんな格好で、1つは事務局のほうも頭に置いていただいて。もしも具体化すれば、皆様方のほうにどうかという発信をしていただければということと、今の名刺等にかかわる使い方等についても、どういうふうに進めていったらいいかについてもひとつ事務的にきちんとご指導いただきたいと、こういうことだと思います。

#### ○委員長

時間も大分下がってきておりますが、なおかつ皆様方のご意見がありますかどうか。

どうでしょうか。はい、どうぞ。

○委員

せっかくの機会でございますので、市民に知らせるということがまずもって大事だと思いますので。ここにも図面がかいてありますが、仮設にしても何にしても、恐らく皆さんはあいうまきがねの運動場を使うのではないかと思われているものでね。そうすると、何でそこを使うのかというようなことも出てくると思います。そういうことであれば、やはり「広報えな」を使いながら、これのPRをするということと、告知器もせっかくできてますので、各家庭に本当は直接行くわけですから、告知器を使って、くどいようだけども毎月ぐらい流していくというようなことをすれば、皆さん認識して、うるさいというぐらい、切るぐらいになると思うのですね。そういう形をとりながら、やはり早く広報でということなのですよというPRをして、皆さんに知らせるということをしたほうがいいと思うのです。

いつも私は思うのですが、広報を見ますと、小さい行事がたくさん広報してありますね。あんな広報は、正直言うと我々はいくらも見てないのですが、こういうものをびたっと出してくれたほうが、よほどPR効果は大きいと思うのですね。そういう面でひとつお願いしたいことと。

もう一つは、アミックスコムのエナッコですか。これなんかでも私も時々テレビで見るとは思いますが、なかなか普通の局と違って黒っぽいですね、見にくいんです。あそこでも十分流せる可能性はありますので、どんどん流してもらおうということをやっていたらいいのではないかと。

それから、またインターネット等ですが、インターネットでも一遍も見たことないですね、これ、国体がありますということ。まだ流れてないんだろうと思いますが。そういう面で行くと、今の若者はもうほとんどインターネットをみんなやっていますので。むしろ年寄りが知らないだけで、若い人はみんなインターネットを見ているわけで。ほとんどインターネットで注文して自分の着物を買うとか、必要なものを買う時代が来てますので、やはりそういうところでも大いに流しておくということを真剣に考えられないと、今からやられれば十分に間に合うと思います。ですから、弓道を知らない人でも、弓道とはこんなものだよと簡条書きでも何でもいいですが、説明をつけながらやれば、みんなわかってくれると思います。ですから、何とかくどいようなPRをするということではないですか。

○委員長

ほかにご意見ありませんか。

#### ○委員

せっかくですので、ちょっと資料をお見せしたと思うのです。新潟市のほうでつくられた資料です。これは宿泊会場輸送マップということで、市内の弓道会場、スケート会場までの道のりとか、あるいは市内のいろんなところの案内がこの1冊になっています。こういうものがあります。

それから、ときめきカーニバルとって、これは駅の前に仮設のテントで、要するにおもてなしですね。そういったところでテントが設けられておりまして、公共広場という名前になってました。こういった、それもそれだけでこのパンフレットをつくっている。

それから、弓道の案内のミニプログラムとして、弓道がどういう競技であるかとか、当たったときはどういうものだよと、どういうふうにやったらだめだよというようなことがこれに書いてある説明書きがあります。

それから、もう1つはこれは1冊厚いんですけど、これはそれぞれの観戦ガイドブックですから、見る方のマナーとかいろんなことがここにずっと書いてあります。これは非常に厚いですね。いろんな競技があったものですから厚いですが、これを弓道とスケートだけにすればもっと少なくということで、こういうものがあります。

それからあと、これは商工会関係さんのあれで観光のガイドブックです。恵那市の観光ガイドブック、こういうのもあります。それから、これはおすし屋さんたちがつくられた新潟市内のすし屋さん。それからあと、お土産。こういう具体的に資料というか、つくられるようなふうになってくると思うのですね。参考にさせていただければ。

#### ○委員長

考えられることは、岐阜県のほうでも当然そういったもとに基づくものはつくられてまいります。それに合わせて、恵那市は2つの種目ですから、それに合わせたものをもう少し考える必要があるということです。

今お話がありましたように、いずれにしてもきょうは第1回の委員会でございまして、それぞれ出されました意見の事務局の考え方と、それに対してどういうふうな予算を措置していくのかということできょうはご議論いただいたわけですが、いずれにしても今後の進め方といたしまして、きょうお話ができなかった分野も、皆様方のほうでさらに項目別に、広報の部分、もてなしの部分、そしていろんな方向性の協議事項1、2、3にかかわる中で、一層また具体的な問題提起がありましたら、これはファクスでも何でもいいわけ

ですので事務局のほうにひとつお出しをいただくと。あるいは、また地域でいろいろお話をされた上で、この地域はやっぱりこういう形で対応していきたい、あるいは広報していきたいということもあろうかと思しますので、そうした考え方を、代表者の皆さん方が地域的な課題は自治連合会や地域協議会の皆さん方へひとつお願いをします。各種団体の方については、やっぱりそれぞれの立場に立った運営のあり方を問題提起をしていただくと。恐らく来年は、このスケジュールからいけば1月か2月の段階に、またこの第2回の委員会が開催されるふうだと思いますので、そうしますと、もう少し中身と予算の問題が明らかになってきて、それに伴った行動内容ははっきりしてくると思います。そこで、もう少し皆様方のほうで具体的なお意見を賜っていくということで、きょうのところはこの程度で締めていいのか、もう少し議論をしてほしいということなのか、どうなのでしょう。

#### ○事務局

ご意見をどうもたくさんいただきまして、ありがとうございます。

今、いただいた数々の貴重なご意見をまた計画に溶け込ませまして、それといただいた宿題ですね、そういった、なぜ弓道を持ってきたかというようなのもまたまとめさせていただいて、次回の会議にまたご提案というか、出させていたいただきたいというふうに思っています。

また後で担当のほうから少し説明いたしますが、16ページ以降に、これは千葉県の匝瑳市というところで、来年の国体の開催地でございますが、それで市民運動基本計画、それから広報基本計画、そして観光・歓迎基本計画、これは恵那市に置きかえてみれば、おもてなし基本計画となるかと思うんですけども、こういったものを、今いただいた数々のご意見をこの計画に反映できるような案を次回作成しまして、それでまた議案として調整させていただきたいと。その基本計画の実施計画として、この方向性というものが具体的な実施計画になっていくというふうな整理をさせていただきたいというふうに考えております。

#### ○委員長

参考資料ですね。参考資料なども参考にいただいて、この内容は恵那市の場合だったらということで、ご意見をまたファクス等でいただくこともいいわけですね。

#### ○事務局

はい。

#### ○委員長

何かまださらに作成することはありますか。

○事務局

市民運動基本計画を見ていただきますと、つくりとしましては、まず目的ですね。それから基本目標として、これはドリームなんかを書いてあるのですけれども、これはこういうアイデアでもって、皆さんから出た意見をこういうちょっと格好いい言葉に直したようなものがここにはこうやって書いてありますけれども。ここまでいくかどうかわかりませんが、きょう出たお話をもとに次回こういうものを事務局案として、議題として出していきたいと思っておりますので、ここは参考までに見ておいてください。

○委員長

事務局が今申し上げておりますように、先催市の中身の先例で、いいことも書いてあるし、考え方もこのようにまとめてあることも含め、それを恵那市において実行した場合はどうなるのか。きょう皆さん方から寄せられた意見も交えながら、たたき台として次は提案をしたいと、こういうことをございますので、それにあわせて、また皆さん方のほうからファクス等で結構ですので、事務局のほうにご意見を寄せていただくということをお願いしたいと思えます。

これで、よろしゅうございますか。

○事務局

最後に1つだけ、済みません。

皆様に配布させていただいております弓道・スピードスケートのピンバッジですが、問い合わせのほうが何件か来ておまして、売ってほしいというお電話をいただいております。早速そのようなことをさせていただきたいと思えますが、よろしいでしょうか。

○委員

「異議なし」の声

○事務局

はい、ありがとうございます。

○委員長

それでは、以上でご意見なしということで、副委員長から閉会のあいさつを。

○副委員長

マイナーだマイナーだと言って、委員になっておられる県弓連の事務局長さんは肩身が狭いような思いをしておられたかと思うのですけれども。教師ですか。何になるのです

か、実際の段位は。

○委員

私ですか。錬士6段です。

○副委員長

何か僕もようわかりませんが、弓道の階級でいうと相当上の人なんですよね、実技の。きょうは正装して参加されたらよかったのに。すばらしい実力の方で、高校生あるいは明智クラブ等で大変お世話になっている方です。底辺人口をふやせというようなお話もたくさんありましたので、そういった面でもご尽力いただいて、大会が成功すると、ぐっとふえるんでしょうね、この競技人口も。そうなることを想定して、ここに来ているかと思えますので、私たちもそれぞれが担っている肩書きもあるわけですので、そういった場で国体が成功するようにご尽力願うということをお願いして、終わりのあいさつとさせていただきます。どうも御苦勞さまでございました。

○委員長

はい、ありがとうございました。

○事務局

どうもありがとうございました。